

1. 以下に示すのは、配列  $a$  の中身を小さい順に並べ替えるバブルソートである。
- (a) まず、このアルゴリズムが動作する仕組みを理解せよ。コメントアウトされている `printf` を有効にすると  $n=3$  と  $n=4$  のときに、それぞれどう表示されるか考えよ。

```
void bubble_sort(double a[], int n) {
    int i, j;
    double t;

    for (i = 0; i < n - 1; i++) {
        for (j = n - 1; j > i; j--) {
            if (a[j-1] > a[j]) {
                t = a[j-1]; a[j-1] = a[j]; a[j] = t;
            }
            /* printf("a[%d]とa[%d]を比較した¥n", j-1, j); */
        }
    }
}
```

- (b) 2つの要素の比較は、 $i$  が 0 のときは  $n-1$  回行われ、 $i$  が 1 のときは  $n-2$  回行われ、 $i$  が  $n-2$  のときは 1 回行われる。計算量 ( $i=0$  から  $i=n-2$  までの総比較回数) を  $n$  で表せ。

2. 選択ソートは、 $i=0$  から始めて  $i$  を 1 つずつ増やしながら、 $a[i] \sim a[n-1]$  の範囲から最小値  $a[k]$  を選択し、 $k \neq i$  ならば  $a[k]$  と  $a[i]$  を交換していくことよって、配列全体の整列を行う。
- (a) 以下のプログラムの空欄を埋めて、選択ソートの関数を完成させよ。

```
void selection_sort(double a[], int n) {
    int i, j, k;
    double t;

    for (i = 0; i < n - 1; i++) {
        /* a[i]~a[n-1]の範囲から最小の値 a[k]を見つける */
        k = i;
        for (j = i + 1; j < n; j++) {
            if (a[j] < a[k]) {

            }
        }
        if (k != i) {

        }
    }
}
```

- (b) 2つの要素の比較は  $i$  が 0 のときは  $n-1$  回行われる。計算量 (総比較回数) を  $n$  で表せ。なお、選択ソートはバブルソートよりも値の交換回数が少ないので高速である。

3. 挿入ソートは、 $i=0$  から始めて  $i$  を 1 つずつ増やしながら、 $a[i+1]$  を整列済みの  $a[0] \sim a[i]$  の適切な位置に挿入することを繰り返していくことによって、配列全体の整列を行う。
- (a) 以下のプログラムの空欄を埋めて、選択ソートの関数を完成させよ。

```
void insertion_sort(double a[], int n) {
    int i, j;
    double t;

    for (i = 0; i < n - 1; i++) {

        t =

        /* a[i] → a[i+1], a[i-1] → a[i], a[i-2] → a[i-1],... と
           a[0]~a[i]の中身を後ろから順にずらしながら t の挿入位置を探る */
        j = i;
        while (j >= 0 && a[j] > t) {
            a[j+1] = a[j];
            j--;
        }

    }
}
```

- (b) 挿入ソートは、ほとんど整列済みの配列に対しては非常に高速だが、逆順に並んでいる配列に対しては最悪の性能になる。最悪の場合、 $i$  が 0 のとき  $a[0]$  の 1 つをずらし、 $i$  が 1 のとき  $a[0]$  と  $a[1]$  の 2 つをずらし、 $i$  が  $n-2$  のときは  $a[0] \sim a[n-2]$  の  $n-1$  個をずらす。ずらす回数の合計は何回になるか。

4. 【発展】下記は挿入ソートの改良版であるシェルソートである。このアルゴリズムが挿入ソートよりも高速である理由を考えよ。

シェルソートでは、配列の中の  $h$  個 (ギャップ) おきの要素列を考え、それぞれに対して挿入ソートを行う。例えば、 $h=3$  のときには  $\{a[0], a[3], a[6], \dots\}$ 、 $\{a[1], a[4], a[7], \dots\}$ 、 $\{a[2], a[5], a[8], \dots\}$  の 3 本の要素列に対して別々に挿入ソートを行う。この手順を、ギャップ  $h$  を適当な値から始めて適当な方法で 1 まで減らしながら繰り返す。最後は  $h=1$  で通常の挿入ソートを行う。

```
void shell_sort(double a[], int n) {
    int i, j, h;
    double t;

    for (h = (n + 1) / 3; h > 0; h = (h + 1) / 3) { /* h が 1,0 で終わるように調整 */
        for (i = 0; i < n - h; i++) {
            t = a[i+h];
            j = i;
            while (j >= 0 && a[j] > t) {
                a[j+h] = a[j];
                j -= h;
            }
            a[j+h] = t;
        }
    }
}
```